

款	9 教育費	項	5 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	1 社会教育総務費	59,103千円	58,787千円
担当課決算額				59,103千円	58,787千円

○人件費 50,087千円
一般職 7人

○男女共同参画推進事業 571千円

・男女共同参画関係啓発活動 138千円

男女共同参画社会の実現に向けて、講演会等の啓発活動を展開しました。

男女共同参画講演会(地区公民館と連携しての講演会)

5月20日	安田小学校会場	参加者 50名
6月10日	まなびタウンとうはく会場	参加者 70名
6月15日	カウベルホール会場	参加者 73名
6月22日	以西地区公民館会場	参加者 27名
6月29日	成美地区公民館会場	参加者 12名
7月13日	古布庄地区公民館会場	参加者 35名
8月4日	赤碕地区公民館会場	参加者 12名

男女共同参画講座

11月4日	いのちのフシギ	参加者 35名
-------	---------	---------

また、北栄町・湯梨浜町と3町合同で、男女共同参画啓発TCCミニドラマ「十人十色物語～笑顔で認めあって、～」を企画、6月の男女共同参画週間に5日間に渡り放送しています。

・琴浦町男女共同参画推進会議 123千円

男女共同参画社会の実現に向けて、研修会開催等の会が行う活動に補助を行いました。

主な事業

#	琴浦町男女共同参画フォーラム	参加者140名
10月26日～28日	日本女性会議参加	参加者 4名

現代的課題を中心としてレディーススクールを開催、より低い年齢層の参加を得られるようPRを工夫して講座を展開、若年層女性の参加を推進しました。

20代からアラフォー世代のためのお金がたまる家計術	参加者 14名
---------------------------	---------

「コミュカ(りよく)」アップ講座	参加者 11名
------------------	---------

「成果」 昨年度より広い地域・内容・世代を対象とした啓発・学習活動を行うことができました。

「課題」 男女共同参画については、まだまだ啓発が十分とは言えない現状があり、今後も様々な機会を捉えて啓発推進を図る必要があります。

○社会教育振興 3,776千円

社会教育関係団体へ財政支援、情報提供等を行い、地域住民による自主的活動を推進し社会教育団体を育成しました。

社会教育委員会 委員10人 12月18日、3月6日開催

社会教育関係団体財政支援

負担金: 県社会教育協議会負担金
県社会教育委員連絡協議会負担金
郡社会教育協議会負担金
県子ども会連合負担金

補助金: 町連合婦人会
町青年団補助金
PTA連合協議会補助金
文化協会補助金
青少年健全育成協議会補助金

「成果」 社会教育関係者や、社会教育団体の育成を図ることができました。

「課題」 生涯学習への幅広い参加を進めるためのきっかけとなる仕組みづくりが課題です。

○生涯学習センター展示事業

各種グループの町民作品展では、活動者の発表の場として、また創作意欲の向上を図るとともに新規活動者を増やせるよう芸術文化の振興発展を図りました。

- ・寿大学園芸同好会(5月12日～13日)
- ・琴浦町俳句展(5月19日～24日)
- ・カブトムシ展(6月22日～25日)
- ・絵手紙サークル作品展(1月24日～29日)
- ・洋画作品展(7月20日～24日)
- ・寿大学表具コース作品展(7月20日～24日)
- ・竹細工教室作品展(7月20日～24日)

「成果」多くの来場者に芸術に触れる機会を提供し、活動団体の育成ができました。

「課題」新規活動者を増やすため、展示事業の周知に努めます。

○寿大学 88千円

高齢者が自ら意欲を持って、生きがいを見出せるように各種講座の実施、趣味活動を通じた仲間づくりを図りました。

- 一般教養コース 年10回
- 各種専門コース コースにより週1回～月1回
- 学級生 277名

「成果」園芸コースが専門コースに新しく追加され、ますます充実したものとなりました。

「課題」多様化する学習ニーズに対応するために事業内容の充実が必要です。

○青少年育成啓発事業 1,068千円

少年育成員を設置し、青少年の非行防止・健全育成を図るための活動を行いました。

少年育成員18名、夜間街頭指導：通年26回

琴浦ものづくり道場を開催し、小学生のものづくりに対する関心を高めました。

4回開催(草木染め、紙飛行機、おもしろ料理、フラワーアレンジメント)

参加者数 55名(子ども)

10秒の愛シンポジウムを開催し、発達段階に応じた様々な年代の子育てについて考えました。

2月24日カウベルホール、参加者数：287名

中学生によるジュニアリーダー養成講座を開催し、地域活動への参加を図りました。

年間5回開催 延べ12人参加

子ども会のリーダー・育成者が集い子ども会活動のあり方について研修を行いました。

3月23日(土)まなびタウンとうはく、3月24日(日)赤碕地域コミュニティーセンター

参加者数：子ども 75名、大人 42名

「成果」ものづくり道場を実施し、小学生へ体験活動を提供することができました。

「課題」ものづくり指導者の育成と、道場の定期的な開催が課題となります。

○生活体験学校実施事業 827千円

放課後・週末に地域の方々の参画を得て子ども達の安心・安全な居場所を作りを行いました。

放課後子ども教室 97回

参加者延べ 1,899名

「成果」新しく安田地区公民館で、水曜より道お習字クラブが開設されました。

「課題」更なるボランティアの確保が課題です。

○文化活動事業 731千円

町内芸能団体による芸能発表会を開催し、文化芸術の振興と団体間の交流を図りました。

実施日:11月25日(日)

会場:カウベルホール

出演者 214名、入場者453名

新たな文化活動者の確保と団体活動の活性化を図ることを目的として、体験講座を開催しました。

文化活動体験講座開催団体 8団体 参加者延べ204名

「成果」 町内文化芸能団体の出演者数及び入場者数は昨年より増加傾向にあり、一層の活動推進を図ることができました。

また、このたびの「文化活動体験講座開催事業」の実施により、新たな活動団体及び新規入者の確保を図ることができました。

「課題」 町内の文化芸能団体及び文化団体とも、引き続き、新たな後継者加入対策を図るため、このたびから創設した「文化活動体験講座開催事業」を実施する必要があります。

○家庭教育支援推進事業164千円

家庭教育講座、乳幼児学級を開催し、子育てについての理解を深めました。

実施回数 10回(家庭教育講座)

参加者人数 延べ 233名(家庭教育講座)

「成果」 多くの参加者に、家庭教育の重要性を啓発できました。

「課題」 講座に参加していない人たちに、家庭教育の大切さをどう伝えていくかが課題です。

○まなびタウンとうはくPC教室実施事業 353千円

情報化時代に対応するため、まなびタウンとうはくを会場にしたパソコン使用法基礎講習を開催し、町民のパソコン技術等の向上を図りました。

実施回数 8講座、11回

参加人数 延べ 79人

「成果」 8講座を開催し、パソコン技術の向上を図りました。参加者数も一定数を越えました。

「課題」 PC教室は民間でも増えてきておりますので、事業としての必要性について検討の余地があります。

○無盡庵管理 188千円

高齢者同士の交流、地域交流の場として提供するため、管理運営を行った。

「成果」 使用者の皆さまに事故なく場を提供したほか、施設の維持管理経費の削減が図れた。

「課題」 今後において、建物自体を国の有形文化財登録など、活用方法の検討が必要と思われます。

○地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 732千円

スクールガードリーダー 2名

巡回指導 288時間

「成果」 通学路を中心とした子ども達の安全を確保できました。

「課題」 パトロールを行っていることを広くPRすることが必要。

○地域の読書推進事業 133千円

9地区公民館にブックエンド、棚を整備

「成果」 読書活動を推進するための環境整備を行うことができました。

「課題」 図書を充実させることが課題です。

○花づくり推進事業 69千円

学校の部、団体の部あわせて応募数 18事例

「成果」 地域における花づくりの機運を高めることができました。

「課題」 一定の成果がありましたので、平成24年度をもって事業終了となりました。

款	9 教育費	項	5 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	2 公民館費	47,198千円	46,726千円
担当課決算額				47,198千円	46,726千円

○公民館費 46,726千円

地域の特色を生かした生涯学習の推進と住民の生活課題、地域課題に即応した学習支援を行いました。また、幅広く公民館活動を展開し、町民の公民館利用促進を図りました。

各公民館の利用状況

区 分	青少年団体		成人団体		女性団体		高齢者団体		その他団体		合 計	
	延回数	延人数	延回数	延人数	延回数	延人数	延回数	延人数	延回数	延人数	延回数	延人数
八橋地区公	170	3,047	140	2,757	277	2,749	61	945	8	1,145	656	10,643
浦安地区公	112	1,635	393	3,820	58	670	122	1,238	5	666	690	8,029
下郷地区公	17	582	104	2,084	26	265	106	1,106	4	322	257	4,359
上郷地区公	3	32			13	142	52	584	155	2,004	223	2,762
古布庄地区公	39	474	83	1,607	57	462	17	257			196	2,800
赤碕地区公	61	1,326	376	4,033	19	249	66	726	1	2	523	6,336
成美地区公	101	812	93	1,294	50	515	31	421	110	2,985	385	6,027
安田地区公	11	265	129	1,870	85	749	71	806	1	5	297	3,695
以西地区公	141	1,379	11	147	50	357	37	425	57	1,291	296	3,599
	655	9,552	1,329	17,612	635	6,158	563	6,508	341	8,420	3,523	48,250

「成果」 住民の身近な学習拠点として、学習・コミュニティー形成を推進しました。

「課題」 住民の事業参加・参画を拡大するため、ニーズ把握と地域課題掘起しのさらなる推進が必要です。

款	9 教育費	項	5 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	3 文化財保護費	6,117千円	5,809千円
担当課決算額				6,117千円	5,809千円

○町内文化財保護に要した経費 1,514千円

○町指定等文化財の管理に要した経費 333千円

○河本家住宅土蔵等修繕事業補助金 411千円

○無形民俗文化財補助事業 60千円

県指定「三本杉の盆踊り」町指定「逢東盆踊り」「以西おどり」を後世に継承保存するため、各保存会に対して補助を行いました。また、県及び町の大会等に積極的に参加しました。

○文化財建造物公開・活用促進事業補助金 500千円

国指定文化財河本家住宅の一般公開を実施する河本家保存会に対し補助を行いました。

一般公開日 4月29日(日)～ 5月5日(土) 入館者 209名

10月29日(月)～ 11月3日(土) 入館者 141名

○民俗資料館管理

臨時職員賃金 1,782千円

斎尾廃寺跡特別史跡60周年記念企画展「斎尾廃寺一白鳳の遺宝展一」

11月3日(土)～18日(日) 来場者 1,048名

企画展「天保の古地図～八橋郡徳万村と笹津村の田畑地続全図～」

1月24日(木)～27日(日) 来場者 154名

斎尾廃寺跡DVD作製 556千円 その他管理に要した経費 653千円

「成果」 河本家一般公開や歴史民俗資料館企画展などを通じて、文化財の理解が深まりました。

特別展では、国立博物館等から遺物を借用し、展示を行ったため、日頃、歴史に興味を持たない人にも来場してもらったきっかけとなった。

「課題」 文化財や事業の積極的なPRが必要です。

款	9 教育費	項	5 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	4 埋蔵文化財発掘調査費	8,840千円	8,676千円
担当課決算額				8,840千円	8,676千円

○町内遺跡発掘調査事業 3,236千円
 県内の堆肥舎建設事業及び県道野添線改良工事に伴い、開発事業と文化財保護との調整を図るため、試掘調査を実施しました。また、槻下豪族館跡の内容確認のため、試掘調査を実施した。
 民間の堆肥舎建設事業 1件(三保遺跡)
 県道東伯野添線改良事業 1件(下伊勢第1遺跡)
 遺跡内容確認事業 1件(槻下豪族館跡)
 三保地区農道法面崩壊対策工事 1件(三保第11号遺跡)

○県営加勢蛇2期地区畑地帯総合整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査事業 4,012千円
 (八橋第10遺跡)
 (事業者負担分 3,401千円 農家負担分 611千円)
 竪穴住居跡を中心とした集落跡など。(竪穴住居跡、土坑、落とし穴状遺構など)

○民間の養鶏団地建設事業に伴い、記録保存のための発掘調査事業
 三保第3遺跡

○町内遺跡試掘調査事業 1,428千円
 浦安子ども園建設に伴い、開発事業と文化財保護との調整を図るため、試掘調査を実施した。
 (下伊勢第1遺跡)
 竪穴住居跡を中心とした集落跡など。(竪穴住居跡、土坑、落とし穴状遺構、礎石建物跡など)
 「成果」 試掘調査の結果、三保遺跡は少量の遺物が出土したが、遺構は検出できなかった。
 下伊勢第1遺跡は、県道部分で溝状遺構、土坑などを検出し、土師器片などの遺物が出土した。
 浦安子ども園部分で、少量の遺物が出土したが、遺構は検出できなかった。
 槻下豪族館跡は、堀の南側部分にトレンチを設定し、調査した。その結果、堀の底面は、平たく箱状になっていることがわかった。
 八橋第10遺跡は、竪穴住居跡1棟、溝状遺構4基、土坑5基などを検出した。古墳時代後期の集落跡。
 三保第3遺跡は、竪穴式住居跡1棟、古墳の周溝1基、土坑11基を検出した。弥生時代中期後半の集落跡古墳時代後期の古墳。
 「課題」 下伊勢第1遺跡(県道部分)は、今後、事業者と文化財の取り扱いについて協議が必要となる。

款	9 教育費	項	5 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	5 生涯学習センター運営費	31,386千円	31,052千円
担当課決算額				31,386千円	31,052千円

○生涯学習センター管理費 31,052 千円
 生涯学習施設として、町民等に学習の場の提供と施設の維持管理を行いました。

生涯学習センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延回数	101	158	183	178	118	150	151	128	130	100	154	132	1,683
延人数	2,274	3,880	5,226	4,974	2,626	3,118	4,170	9,782	2,866	2,780	4,245	4,665	50,606

「成果」 学習拠点として、幅広い研修の場として活用され、利用件数が増加しています。

「課題」 施設の効果的運用及び、長期的維持管理計画の検討が必要です。

款	9 教育費	項	5 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	6 図書館費	39,762千円	39,248千円
担当課決算額				39,762千円	39,248千円

○人件費 27,908千円
 一般職 1人 嘱託 2人 臨時 9人 (本館 10人、分館 2人)

○琴浦町図書館図書等購入費 5,100千円

本館(移動図書館車含む) 赤碓分館において、町民の利用に供するための図書等の資料を購入しました。

区分	本館	赤碓分館	計
図書等購入費	4,300千円	800千円	5,100千円
蔵書数	126,409冊	26,278冊	152,687冊
図書等資料貸出	96,178冊	20,750冊	116,928冊

開館日数 本館289日、赤碓分館295日

○琴浦町図書館活動費 6,240千円

○移動図書館車巡回

移動図書館車による地域への本の貸出サービスを行い、利用者の利便性を図りました。
 保育園・子ども園・小学校等 18ヶ所 部落等 35ヶ所

「成果」暮らしに役立つ図書館を目指し、観光パンフレット・行政情報・生活情報のチラシ等を、目につきやすい図書館入口近くに設置し、利用者の利便性を図りました。

「課題」図書館職員は、経験と司書資格のあることが大きく影響されるので、職員(正職員)の確保が必要です。

款	9 教育費	項	5 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	7 カウベルホール運営費	12,040千円	12,010千円
担当課決算額				12,040千円	12,010千円

○カウベルホール運営費 10,917千円
 カウベルホールの維持管理と運営を行いました。

カウベルホール利用状況

	ホール		会議室		和室		計		収入(千円)
4月	5回	820名	3回	51名	1回	50名	9回	921名	93
5月	1回	60名	4回	86名			5回	146名	34
6月	8回	2,135名	7回	253名	1回	50名	16回	2,438名	167
7月	12回	1,593名	9回	378名	3回	60名	24回	2,031名	138
8月	9回	1,148名	4回	71名	2回	90名	15回	1,309名	99
9月	3回	608名	4回	96名	1回	20名	8回	724名	45
10月	17回	2,683名	7回	117名	7回	214名	31回	3,014名	187
11月	7回	1,661名	7回	296名	3回	130名	17回	2,087名	55
12月	6回	795名	4回	81名	1回	30名	11回	906名	121
1月	1回	300名	4回	218名			5回	518名	5
2月	5回	1,125名	6回	96名	3回	60名	14回	1,281名	41
3月	4回	900名	6回	110名	2回	75名	12回	1,085名	192
合計	78回	13,828名	65回	1,853名	24回	779名	167回	16,460名	1,177

○公共ホール音楽活性化支援事業 1,093千円
 文化芸術団体等の皆さまにホールの存在やそお優れた音響空間を認識していただくため、多くのホール使用者の確保を図るとともに、音楽芸術に対する新たな支持層を広げるため、下記のとおり実施した。

12月4日～8日(土)

- ・公演事業 1回 出演アーティスト:中橋芳恵(ピアノ)、馬目香保里(オカリナ)
 場所:琴浦町カウベルホール 入場者数:249名
- ・交流事業 5回 出演アーティスト:中橋芳恵(ピアノ)、馬目香保里(オカリナ)
 場所:赤碕小学校(4年生)参加人数:28名
 八橋小学校(4年生)参加人数:35名
 浦安小学校(4年生)参加人数:34名
 以西小学校(1年生～6年生)参加人数:37名
 東伯小学校(3年生～4年生)参加人数:35名

「成果」 ホール使用者及び来場者の皆さまに事故なく場を提供し、施設の維持管理経費の削減が図れた。

また、各小学校で開催した、アウトリーチにより、音楽芸術に興味を持たれた児童が多く、最終日のコンサートには親子連れでの来場者が多数あり、新たな支持層を広げるきっかけづくりとなった。

「課題」 今後も引き続き、音楽芸術に対する新たな支持層を拡大するほか、自主企画事業を行うために必要な人材養成及び町内文化芸術団体等との連携協力が必要と思わます。

款	9 教育費	項	6 保健体育費	最終予算額	決算額
		目	1 保健体育総務費	17,070千円	17,032千円
担当課決算額				17,070千円	17,032千円

○人件費 16,552千円
 一般職 3人

○一般管理 480千円
 社会体育に関する一般的な管理運営を行いました。

款	9 教育費	項	6 保健体育費	最終予算額	決算額
		目	2 体育振興費	11,906千円	11,764千円
担当課決算額				11,906千円	11,764千円

○社会体育指導及び推進 1,842千円

心身ともに健康で明るい町づくりのため、スポーツ推進員の研修・活動を推進した。

・体育指導委員(27人)

・研修会

琴浦町スポーツ推進員会定例会(琴浦町)	毎月(年12回)
中国地区スポーツ推進員研修会(山口県)	6月23・24日 参加者 17名
全国スポーツ推進員研究協議会(長崎県)	11月2・3日 参加者 13名
東伯郡スポーツ推進員研究大会(三朝町)	1月12・13日 参加者 16名

・共同事業

体力づくり教室(スポンジテニス、ストレッチ体操、ファミリーバドミントン)	
8月23日～9月27日 毎週木曜日	参加者 6回 70人
町民体力づくりウォーキング(白鳳の郷コース)	
11月3日(木)文化の日	参加者 71人
体力づくりスポレク祭(スポンジテニス・ハウスボール)	
2月17日(日)	参加者 110人

・その他

各地区公民館・町主催イベント・町内外駅伝大会・各種体育指導・小学校親子会等の事業協力を行った。

「成果」心身ともに健康で明るい町づくりのため、スポーツ推進員の研修を町内外で行い、研修成果生かした依頼団体に合わせた指導・活動を行い好評であった。

「課題」子どもから高齢者まで、幅広くそのニーズに合った健康づくりとあわせた生涯スポーツ等を指導できるよう研修する必要がある。

○郡・県・国民体育大会選手派遣 5,445千円

郡民体育大会、県スポーツ・レクリエーション祭、全国大会に参加する町代表選手の参加補助を行った。

・郡民体育大会	参加者	1,330人
・県スポーツ・レクリエーション祭	参加者	94人
・各種全国大会	参加者	54人

「成果」郡民体育大会において、常日頃の練習の成果として、男女総合優勝を果たす事ができた。

「課題」今後に向け各年齢層の強化育成が必要とされる。

○町体育協会育成及び各部奨励 2,428千円

体育協会の主催する各種スポーツ大会及び教室活動を支援し、より一層のスポーツ振興を図りました。

・町体育協会事業

事業名	開催日	参加人数
春季ゴルフ大会	4月1日	51人
春らんまんソフトバレー大会	4月1日	29チーム
春季ゲートボール大会	5月7日	21人
体協グラウンドゴルフ東伯大会	5月2日	雨天中止
体協グラウンドゴルフ赤碕大会	5月11日	20チーム
春季野球大会		雨天中止
町長杯卓球大会	5月19・20日	18チーム
ナイター野球リーグ戦	5月19日～9月29日	18チーム
ミックスダブルステニス大会	5月20日	16人
スポーツ・レクリエーションin琴浦 (ソフトボール) (バドミントン) (ソフトテニス) (グラウンドゴルフ)	6月3日	5チーム 9チーム 12チーム 48チーム
夏季ゴルフ大会	6月10日	32人
バウンズボール講習会&交流大会	9月16日	17人
駅伝競走大会	9月23日	46チーム
秋季ソフトボール大会	10月14日	3チーム
キッズサッカーフェスティバル	10月23日	25人
ミックステニストーナメント	10月21日	18人
秋季ゴルフ大会	10月27日	46人
秋季野球大会		雨天中止
秋季ゲートボール大会	11月2日	23人
総合バドミントン大会	11月18日	11チーム
銃剣道大会	11月23日	20人
剣道大会	11月23日	40人
ソフトバレー大会	11月25日	28人
9人制バレーボール大会	12月2日	6チーム
バスケットボール大会	12月9日～1月20日	14チーム
元旦マラソン&ウォーキング大会	1月1日	256人
武道館鏡開き	1月6日	約100人
スキー&スノーボード教室	1月19日	31人
新春フットサル大会	1月14日	26チーム
スキー&スノーボード教室	1月21日	80人
卓球大会	3月3日	24チーム
小学生相撲教室	3月27日～4月24日(毎週 水曜日)	15人
柔道教室	4月14日～3月23日(毎週 土曜日)	10人
陸上教室	4月24日～3月23日(毎月 第2、4土曜日)	39人
水泳教室	6月10日～7月29日(毎週 月・火・水・金)	56人
ソフトテニス教室	8月18日～9月29日(毎週 土曜日)	18人

「成果」・体育・スポーツ競技の功績をたたえ体育協会表彰を行うが、今年度は町出身の川中香緒里さん(ロンドンオリンピック・アーチェリー団体3位)・上田幸佳さん(世界女子相撲選手権優勝)と、世界で活躍され、町民の大きな話題・力となった。

・体育協会の各部主催の事業を補助し、より一層のスポーツ振興が図られた。

「課題」各種大会に於いて、他行事等と重なり参加者の減少や中止となったものもあり、開催時期等の検討が必要となっている。

・町スポーツ教室

第16回琴浦町スポーツ教室交流会(野球) 3月10日(日)

元プロ野球選手の真栄木正和氏、堀江賢治氏、浅野智治氏を招き、野球教室を実施しました。元プロ選手と交流の場を設け、子どもたちにスポーツ意欲を持たせ、技術力のアップやスポーツに対する姿勢などを学び、これからのスポーツ少年団活動、また学校生活等多いに役に立つ場となった。

「成果」 元プロ野球選手と交流することにより、技術力のアップ・スポーツに対する姿勢などを学び、今後のスポーツ少年団活動、また学校生活等多いに役に立つ場となりました。

「課題」 招聘するプロ選手の競技種目に偏りがあるため、魅力なる講師の選考が必要となっている。

・駅伝大会参加

中部地区駅伝・米子鳥取間駅伝と、それぞれ選手の皆さんの団結と練習成果により、それぞれ優秀な成績が残せました。

第66回中部地区駅伝競走大会 9月17日

出場:20チーム 成績:2位

第67回米子・鳥取間駅伝競走大会 11月12・13日

出場:郡市町村部10チーム 成績:郡市町村部 優勝(4連覇)

「成果」 中部地区駅伝・米子鳥取間駅伝と、それぞれ選手の皆さんの団結と練習成果により、それぞれ優秀な成績が残せました。

「課題」 選手の年齢層が高くなり、若年層の選手育成が課題となりつつあります。

○町民体力づくり大会 30千円

町内の史跡等を巡り、ウォーキングによる体力づくり大会を計画・実施し、町民の体力向上と親睦を図りました。

町民体力づくりウォーキング(浦安～槻下コース)

11月3日(木)文化の日 参加者 71人

○スポーツ・レクリエーションの祭典 67千円

スポーツ・レクリエーションフェスティバルを開催することにより、ニュースポーツの紹介、普及を図り、町民の体力向上と親睦を進めました。

・スポーツ・レクリエーションin琴浦 6月3日(日) 参加者 74チーム

種目:バドミントン・グラウンドゴルフ・ソフトテニス・ソフトボール

・体力づくりスポレク祭 2月17日(日) 参加者 110人

種目:スポンジテニス・ハウスボール

「成果」 子どもから高齢者まで取り組みやすいスポーツを選定し、町民の体力向上と親睦が図られました。

「課題」 参加者が固定しつつあるので、啓発活動・種目の見直し等検討が必要です。

○スポーツ少年団育成強化 1,372千円

スポーツ少年団活動支援を通じて、少年団の心身ともに健全な育成を図りました。

団名	団員数	活動日
琴浦八橋野球	17人	毎週 水・金・日
浦安野球	13人	毎週 水・金・日
東伯野球	22人	毎週 月・水・金
赤碕・安田野球	14人	毎週 月・水・金
以西成美野球	17人	毎週 水・土
八橋バレーボール	11人	毎週 火・木
浦安バレーボール	13人	毎週 月・水・土
東伯バレーボール	20人	毎週 火・金
古布庄バレーボール	8人	毎週 火・木・土
赤碕バレーボール	13人	毎週 火・木・土
安田バレーボール	7人	毎週 火・金
成美バレーボール	7人	毎週 火・金・土
以西バレーボール	12人	毎週 火・木・土
琴浦ミニバスケットボール	32人	毎週 月・水
東伯バドミントン	16人	毎週 月・火・木・金
琴浦卓球	50人	毎週 [小学生]木 [中学生]火・木
東伯サッカー	48人	毎週 水・金
成美サッカー	25人	毎週 水・金
東伯剣道	17人	毎週 月・水・金
赤碕剣道	10人	毎週 月・水・金
琴浦空手	24人	毎週 月・水・金
琴浦相撲	2人	毎週 水

「成果」 体を動かす事の楽しみや、喜びを知り基礎的な運動能力や運動習慣を身につけ、生涯にわたりスポーツを楽しむ基盤となっています。

「課題」 スポーツを通じた心身の健全育成を図るため、保護者及び指導者と連携を強化することが必要となっている。

○ガイナレ鳥取・琴浦町ホームタウンデー推進事業 267千円

ガイナレ鳥取ホームタウンゲームにおいて、町内から観戦者の動員を図るとともに、県内外から会場に訪れた観客に対し、琴浦町のPRを行った。

- ・ガイナレ鳥取 対 横浜FC 観客約 4,000人

○オリンピック出場選手支援事業 313千円

ロンドンオリンピックに出場した川中香織里選手の応援する会の設立や応援ポスターなどを作製し、支援を行った。

款	9 教育費	項	6 保健体育費	最終予算額	決算額
		目	3 体育施設費	46,664千円	45,348千円
担当課決算額				36,213千円	34,897千円

○社会体育利用施設管理 2,423千円

町民が利用する、社会体育施設の維持管理を行いました。

(東伯総合公園・赤碕総合運動公園・農業者トレーニングセンターは除く)

○平岩記念会館管理運営 1,089千円
 青少年が宿泊研修できるよう管理運営を行いました。

施設利用状況 (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	126	223	206	99	132	233	65	67	108	120	138	55	1,572

○総合公園管理 16,017千円
 東伯総合公園の維持管理を行いました。

施設利用状況 (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	2,371	3,631	4,748	4,213	5,600	4,983	6,372	3,177	1,625	2,794	2,681	2,469	44,664

○農業者トレーニングセンター運営 5,658千円
 町民のスポーツの普及・振興・健康づくり事業の開催ならびに、施設の維持管理を行いました。

施設利用状況 (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	1,142	963	1,688	1,785	815	1,313	4,032	1,624	1,237	855	975	1,301	17,730

○赤碕総合運動公園運営 8,759千円
 赤碕総合運動公園の維持管理を行いました。

施設利用状況 (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	566	1,617	1,903	1,475	1,223	904	849	739	—	—	—	533	9,809

※12月～2月は休園

○勤労者体育センター管理運営事業 951千円
 勤労者体育センターの適切な管理運営を行い、利用者の健康増進を図りました。

施設利用状況(赤碕) (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	425	650	655	723	725	920	552	550	650	672	743	321	7,586

施設利用状況(東伯) (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	820	832	775	932	650	720	792	1,020	820	921	533	743	9,558

「成果」 スポーツ施設の拠点として、町内外の利用者に喜ばれるよう維持管理を行いました。

・各施設(総合体育館・農業者トレーニングセンター)体力づくり教室から、自主グループもでき、体力づくりの和が広がっている。

「課題」 各施設の老朽化により、修繕箇所も多くなり、施設管理が増加しています。

款	9 教育費	項	5 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	4 埋蔵文化財発掘調査費(繰越明許費)	5,023千円	4,667千円
担当課決算額				5,023千円	4,667千円

○民間の養鶏団地建設事業に伴い、記録保存のための発掘調査事業 4,667千円
 三保第3遺跡

「成果」 三保第3遺跡は、竪穴式住居跡1棟、古墳の周溝1基、土坑11基を検出した。弥生時代中期後半の集落跡古墳時代後期の古墳。